

開館時間と休館日が変わります

2021年4月から
右記に変わります

開館時間：9:00～17:00
休 館 日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）
年末年始（12月29日～1月1日）

茶の湯文化を伝える「不昧公像」と「伝利休茶室」

松江藩主で大名茶人として知られる松平不昧。当館には不昧公の二百年忌を記念し制作された陶像があります。また、松江藩家老・大橋茂右衛門の屋敷にあった、三畳台目の松江最古の茶室も館内に復元しています。【観覧自由】



松江おもしろ談義

一歴史をたずねる・美術にしたいしむー

学芸員による松江の歴史と美術に関する講座です。（詳細は随時ホームページでご案内します。）

場 所 館内 歴史の指南所
と き 毎月1回・日曜日に開催
14:00～15:00
4/18、5/16、6/13、7/25、
8/22、9/12、10/17、11/21、12/12、1/23、2/13、3/13



自宅で楽しむ松江歴史館

おうちミュージアム

おうちで
たのしく まなべる

おうちミュージアムQRコード

松江歴史館ホームページでは、当館の収蔵品のデータベースを公開しています。他にもぬり絵やワークシートなどお子さんにも楽しんでいただけるコンテンツをご用意しています。ご自宅からも松江歴史館をお楽しみください。

その他、季節に応じたイベントも開催しています。各種イベントにつきましては、随時ホームページ、Facebook、Twitterでご案内しています。
ホームページ <https://www.matsu-reki.jp/>
松江歴史館 検索

※予定はやむを得ず変更となる場合がございます。
※各種イベントのお申込みはお電話にて承ります。（TEL:0852-32-1607）

ご利用案内

開館時間

9:00～17:00（観覧受付は16:30まで）

休 館 日

毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）
年 末 年 始（12月29日～1月1日）
※ただし令和3年11月22日（月）は開館、24日（水）が休館

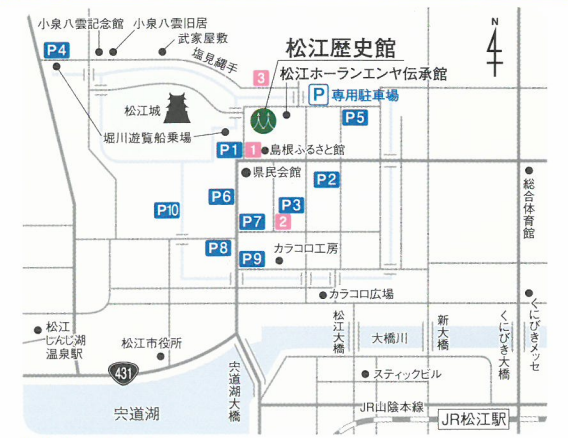
展示観覧料（展示室以外は無料）

基本展示／大 人 510円（410円）
小・中学生 250円（200円）
※（ ）内は20名以上の団体料金
企画展示／内容により料金が異なります。
有料展示観覧の方は、松江ホーランエンヤ伝承館が無料でご覧頂けます。

年 間 パ ス ポ ー ト

大 人 1,560円 小・中学生 780円
※購入日から1年間、松江歴史館の基本展示と企画展示及び松江ホーランエンヤ伝承館が何度でも観覧できます。（その他特典があります。）

ア ク セ ス



P 専用駐車場あり（無料、徒歩1分）
※敷地内に障がい者専用駐車場あり

- 有料駐車場

 - P1 松江城大手前駐車場 徒歩3分
 - P2 タイムズ一畑殿町駐車場 徒歩4分
 - P3 島根県民会館有料駐車場 徒歩5分
 - P4 城山西駐車場 徒歩13分

松江城大手前駐車場と城山西駐車場は割引特典あり。
- おもてなし駐車場（無料）

 - P5 松江商工会議所駐車場 徒歩3分
 - P6 島根県庁駐車場 徒歩7分
 - P7 島根県庁東庁舎駐車場 徒歩7分
 - P8 島根県庁南庁舎駐車場 徒歩9分
 - P9 島根JAビル駐車場 徒歩8分
 - P10 島根県職員駐車場 徒歩10分

※おもてなし駐車場は土日祝日のみ利用可能。
※各種行事の際はご利用いただけない場合があります。

■バス（松江駅から）

- ぐるっと松江レイクライン（観光ループバス）
約13分 1 大手前堀川遊覧船乗場・歴史館前 下車徒歩3分
- 一般路線バス
約9分 2 県民会館前 下車徒歩5分 約15分 3 塩見縄手 下車徒歩1分

※一般路線バスは、県民会館方面行き（松江しんじ湖温泉行き、島根大学、川津行きほか）をご利用ください。
便により、「県庁前」「塩見縄手」を経由しないものがありますので、乗車時にご確認ください。

10人h
おかげさまで
10周年

松江市立
松江歴史館
展示・催し物のご案内

SCHEDULE
2021.4—2022.3

【2021年4月から休館日と開館時間が変わります】

開館時間 9:00～17:00（観覧受付は16:30まで）
休 館 日 毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月1日）

●お問合せ先 〒690-0887 島根県松江市殿町279番地
TEL:0852-32-1607 FAX:0852-32-1611
<https://www.matsu-reki.jp/>

4.16(金)→6.27(日)

企画展

松江歴史館開館10周年記念
開校100周年記念企画展
旧制松江高等学校
—松江で学び、暮らした学生たち—

今から100年前、1920年(大正9)に設立された旧制松江高等学校は、松江市ひいては島根県にとって待望の高等教育機関で、各界の第一線で活躍する人々を多数輩出しました。全国から研究者や学生が集まり学術研究や教育を担うという役割は、後身である島根大学に現在も受け継がれています。本展は、旧制松高開校100周年を記念して開催し、旧制松高の学生たちの学びや暮らしについて、そして懐かしい松江の様子についても当時の写真等から紹介します。



旧制松江高等学校の校舎に掲げられていた校章(当館蔵)

7.16(金)→8.29(日)

企画展

国際文化観光都市70周年記念
松江歴史館開館10周年記念
これまで、これから
—所蔵品一挙公開—

松江歴史館は開館以来、松江に関する多くの貴重な歴史資料や美術作品の寄贈・寄託を受け、また購入によっても資料の散逸を防いできました。開館10周年を機に、普段展示する機会の少ない収蔵品を紹介します。松江の歴史や文化に新たな知見をもたらした収蔵品から、松江歴史館のこれまでのあゆみと、これからのあり方を考える機会とします。



松江藩松平家伝来の徳川家康の陣中守護本尊(故開運千休不動尊)(当館蔵)

9.17(金)→11.23(火・祝)

特別展

松江歴史館開館10周年記念
戦国の世を馳せた武将
堀尾吉晴

松江歴史館開館時に特集した松江藩主堀尾氏に再び焦点を当てます。また松江市、安来市、愛知県大口町と共同で組織した堀尾吉晴共同研究会では、吉晴について多角的に研究を行い、様々な新しい知見が出てきました。本展では、豊臣秀吉や徳川家康に従い武将として成長し、近江国佐和山や遠江国浜松で領主として城郭や城下町の整備をした経歴を活かし松江城や城下町を築き上げた堀尾吉晴の一生を追います。



堀尾吉晴肖像画(春光院蔵)

2022.2.4(金)→4.10(日)

企画展

松江藩と絵図
—花開いた地図の世界—

今からおおよそ200年前の1821年(文政4)、伊能忠敬の全国測量事業により完成した日本図「大日本沿海輿地全図」が幕府に上呈されました。一方、松江藩士の神田助右衛門親子は藩領内を測量のうえ「出雲国十郡絵図」を作製し、同年、その小絵図を藩に差出しています。江戸時代には、このような国絵図をはじめ多様な手描きの絵図が作製される一方、木版印刷による出版図が広く流布しました。本展では、江戸時代に多くの地図が様々な目的で作られて、広まっていく様子をたどります。

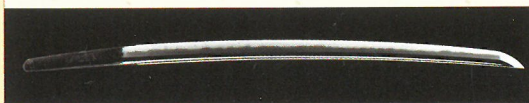


出雲国十郡絵図 文政4年(島根県立図書館蔵)

※展覧会題名等は変更となる場合があります。

基本展示室も展示替えしています

松江藩の歴史や文化を紹介する基本展示室(常設展示)では、3か月に一度、大行列図や町絵図、刀剣などの資料を替えています。



小太刀 額銘「長光」(島根県指定文化財)

展示替えのスケジュール等詳細につきましては随時ホームページでご案内しています。

■ スポット展示(基本展示室・最終コーナー 要基本展示観覧券)

4.6(火)→5.30(日)

国際文化観光都市70周年記念
登録記念物 嫁が島(前期)
—若槻禮次郎が愛した島—



嫁が島で植樹する若槻禮次郎

6.1(火)→8.1(日)

国際文化観光都市70周年記念
登録記念物 嫁が島(後期)
—石に込めた文人たちの想い—



田代家の茶師如來坐像

8.3(火)→10.3(日)

松江藩の医師と医術
—田代家と芦田家—

10.5(火)→11.28(日)

松江のものづくり
—唐金師・遠所長太郎の仕事—

11.30(火)→2022.1.30(日)

松江のものづくり
—藍染木綿—

2022.2.1(火)→4.3(日)

松江のものづくり
—木地師・2代
小林幸八の仕事—



2代小林幸八工房看板

■ ミニ展示(展示ホール・展示室前 観覧無料)

4.6(火)→6.27(日)

旧制松高の図画教員
草光信成と木村義男

6.29(火)→8.29(日)

絵画で海外旅行
松江人がみた異国の地

8.31(火)→10.3(日)

陶像設置1周年記念
松平不昧展

10.5(火)→10.31(日)

織部焼と布志名焼
—「へうげもの」から型ものへ—



黒織部寄形茶碗(当館敷地内出土)

11.2(火)→12.26(日)

文人たちの交友
—松平宗衍、不昧、雪川、酒井抱一、
太田蜀山人、亀田鵬斎など—

12.28(火)→2022.2.27(日)

新春展示「虎」
—若槻禮次郎コレクション—

2022.3.1(火)→4.3(日)

出版と旅を広めた木版印刷
—「出雲神社巡拝記」とその版木—



「虎」小村大雲筆